

いつか訪れる墜落の日

ウ占いあり

講座篇II



竹村亜希子

れもなく。飛龍はある日突然「亢龍」になる

これは自然の摂理である。良寛の言葉に

「災難にあう時はあうが良

く候、死ぬ時は死ぬが

良く候」

ここで龍の話の復習

というか再確認をして

おくことにする。

まず潜龍から始ま

り、見龍へと進化し、

君子終日乾乾。そうし

て躍龍となり、ついに

陰を育てることだ。

そして、それは突然

は飛龍へと昇り詰め

る。飛龍は世の中に恵

空を天翔る飛龍にと

みの雨を降らし、天空切な役割がある。焦るを悠々と泳ぎ、やがてことなく、出すぎることなく、あるいはちゅうちよすることなく、それぞれの龍には大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

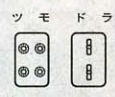
それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割

それぞれの大それた段階の役割



問題

南場1局。2600点のプラスで2位の南家。トップとは6300点の差。追加点を得て親番を迎えたい。今局はドラが。連風牌の南が欲しい6巡目に。入手の場

何を切る？

実践麻雀

面。

ここで次の応手が考えられるが、どう構えるのがいい？

- ① 切
- ② 切
- ③ 切

解答は左下に

1年前

【6月10日】

年金問題対応の全国130カ所の社会保険事務所で2時間半、システム障害

を全つすることに、人生はより輝かしいものとなるはずだ。と、まとめてみたが、これは、竹村亜希子流の『易经』の読み方である。このことを忘れないでほしい。次回(11日掲載)で連載を終わります。

解答